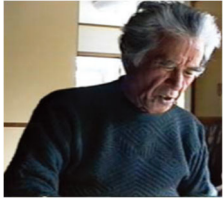


本発表のポイント

 米国立公文書記録管理局（NARA）所蔵 428-NPC-14473 映像提供：名倉有一	1. 約 2800 人の捕虜が、浜名湖から帰国した意外性 映像のご利用 この映像は、私は使用に問題ないと判断して本日よりご紹介しています。ただし、報道で使用される場合は、各社のご判断でお願いいたします。NARA の映像番号は左に記載しております。なお、ご使用の際は『映像提供：名倉有一』と表記していただいて構いません。
 杉浦克巳氏（1994 年） 撮影：名倉有一	2. 終戦直後の知られざる出来事 元毎日新聞東京本社社会部長・『サンデー毎日』編集長が、郷里での聞き取り調査をもとに 1997 年に自費出版しているが、その内容は主として日本側の証言によるものである。本発表では、これに米国立公文書記録管理局（NARA）の映像や連合軍捕虜の証言を加え、多面的に紹介する
 1942 年 1 月 16 日付朝日新聞	3. 証言者ウィリアムズ氏の特異な経歴 ・ 軍人ではなく、英国植民地省の行政官（『証言』 p.1-2） ・ 太平洋戦争で日本初の善通寺捕虜収容所（香川県）に、最初に収容された 9 人のひとり（同上 p.19-21） ・ 日本軍の対米謀略放送「日の丸アワー」への協力を命がけで拒否し、戦後、英国政府から勲章を授与された（同 p.139）
 2026 年作成	4. ウィリアムズ氏に関する報告書は図書館で閲覧可能（非売品） 約 40 年の調査研究の成果として作成した報告書は、横浜市、善通寺市、東京都（大田区・千代田区）、飯田市の図書館へ寄贈しており、閲覧や相互貸借が可能である。海外では、ケンブリッジ大学図書館やスタンフォード大学フーヴァー研究所にも所蔵されている（『証言』 p.142-143）